

【参考1】

I 特に優れた業績を証明する資料

業績の種類 (大分類)	機構が定める評価基準 (中分類)	委員会が設定する具体的な評価項目 (小分類)	評価点数の 高い順位	学内選考の際に他者と総合得点が 同点になった場合の優先順位	添付資料等 (業績を証明する資料)	最大 ページ数		
1 学位論文その他の 研究論文	学位論文の教授会での高い評価、関連した研究内容の学会での発表、学術雑誌への掲載又は表彰等、当該論文の内容が特に優れていると認められること	(1) 大学院における教育研究活動等に関する業績						
		ア 修士学位論文				論文(概要又はアブストラクト)及び表紙(タイトル、氏名、日付等)の写し	各業績につき 4ページまで	
		イ 博士学位論文				論文(概要又はアブストラクト)及び表紙(タイトル、氏名、日付等)の写し		
		ウ 学内研究誌に掲載された論文				研究誌の表紙(雑誌名・氏名・発行巻数・発行年月等)・目次・論文(概要)の写し		
		エ 日本学術振興会及び民間財団等が公募している競争的資金の獲得				採択通知及び競争的資金の概要の写し(採用日、氏名、獲得情報)		
		オ 学問的達成による学長賞など学内の賞の受賞				賞状の写し(日付、氏名、賞の名称等記載、表彰内容)		
		カ その他各研究科等で認める業績				その業績を証明する資料		
		(2) 専攻分野に関連した学外における教育研究活動等に関する業績						
		ア 留学先での学位論文				学位を証明する資料、論文(概要又はアブストラクト)及び表紙(タイトル・氏名・日付等)の写し		
		イ レフリー制のある学会誌、学術誌への掲載論文	2		国外の実績が上位。次に掲載回数が多い者	学会誌の表紙(学会誌名、氏名、巻、号、発行年月等)・目次・論文(概要)の写し		
		ウ 学会賞、学術賞の受賞	1		受賞の回数が多い者が上位	学会賞等賞状の写し(日付、氏名、賞の名称、表彰内容等記載)		
		エ 学会、学術集会での発表	3		国外の実績が上位。次に発表回数が多い者	発表した講演会、シンポジウム等の資料 発表原稿(概要)及び学会等のプログラムの表紙・開催日・場所・氏名・目次の写し		
オ その他各研究科等で認める業績				その業績を証明する資料				
2 大学院設置基準に 定める特定の課題 についての研究成果	特定の課題についての研究の成果の審査及び試験の結果が教授会等で特に優れていると認められること	大学院における教育研究活動等に関する業績						
ア 大学院設置基準第16条(琉球大学大学院学則第42条)に定める修士論文に代わる特定に課題についての研究成果					研究報告書、議事要旨等 ※ <u>修士課程又は博士前期課程</u> において、修士論文以外の特定の研究成果により修了する場合	各業績につき 3ページまで		
3 省令第36条第3号 に定める「大学院設 置基準(昭和49年文 部省令第28号)第16 条の2に定める試験 及び審査の結果」	専攻分野に関する高度の専門的知識及び能力並びに当該専攻分野に関連する分野の基礎的素養であって当該前期の課程において修得し、若しくは涵養すべきものについての試験の結果が教授会等で特に優れていると認められること、又は、博士論文に係る研究を主体的に遂行するために必要な能力であって当該前期の課程において修得すべきものについての審査の結果が教授会等で特に優れていると認められること	大学院における教育研究活動等に関する業績						
ア 大学院設置基準第16条の2に定める修士論文又は特定の課題についての研究成果に代わる専攻分野に関する高度の専門的知識及び能力並びに当該専攻分野に関連する分野の基礎的素養であって当該前期の課程において修得し、又は涵養すべきものについての試験					所属研究科での試験・審査・審議等の資料及び結果報告書、議事要旨等 課程修了(又は予定)を証明する研究科長名の文書 ※ <u>博士前期課程が対象</u>	各業績につき 3ページまで		
イ 大学院設置基準第16条の2に定める修士論文又は特定の課題についての研究成果に代わる博士論文に係る研究を主体的に遂行するために必要な能力であって当該前期の課程において修得すべきものについての審査								
4 著書、データベース その他の著作物	専攻分野に関連した著書、データベースその他の著作物等(省令第36条第1号及び第2号に掲げる論文等を除く)が、社会的に高い評価を受けるなど、特に優れた活動実績として評価されること	(1) 大学院における教育研究活動等に関する業績						
		ア 大学によって刊行されたデータベース・その他の著作物				学内で刊行された著書、データベース、その他の著作物の資料(表紙・目次・内容、発行日等。専攻分野との関連性があること)	各業績につき 3ページまで	
		(2) 専攻分野に関連した学外における教育研究活動等に関する業績						
		ア 著書				学外で発行された著書、データベース、その他の著作物の資料(表紙・目次・内容、発行日等。専攻分野との関連性があること)		
		イ データベース						
ウ その他の著作物								
5 「発明」	特許・実用新案等が優れた発明・発見として高い評価を得ていると認められること	大学院における教育研究活動等に関する業績						
ア 特許出願に至ったなど、発明、発見等による顕著な業績					発明・特許・実用新案等の申請又は登録がされたことがわかる資料(出願資料、登録番号等、特許等の出願日、登録日)	各業績につき 3ページまで		

【参考 1】

業績の種類 (大分類)	機構が定める評価基準 (中分類)	委員会が設定する具体的な評価項目 (小分類)	評価点数の 高い順位	学内選考の際に他者と総合得点が 同点になった場合の優先順位	添付資料等 (業績を証明する資料)	最大 ページ数		
6	「授業科目の成績」	講義・演習等の成果として、優れた専門的知識や研究能力を修得したと教授会等で高く評価され、特に優秀な成績を挙げたと認められること	大学院における教育研究活動等に関する業績			最終の成績証明書	各業績につき 2ページまで	
7	「研究又は教育に係る補助業務の実績」	リサーチアシスタント、ティーチングアシスタント等による補助業務により、学内外での教育研究活動に大きく貢献し、かつ特に優れた業績を挙げたと認められること	(1) 大学院における教育研究活動等に関する業績			TA・RA等の発令通知、人事異動通知書、雇用証明書等 (氏名、授業科目、雇用期間、活動内容がわかる資料)	各業績につき 3ページまで	
			ア	リサーチ・アシスタント等による研究活動への貢献				
			イ	ティーチング・アシスタント等による教育活動への貢献				
			ウ	科学研究費補助金等による研究活動への貢献				
			(2) 専攻分野に関連した学外における教育研究活動等に関する業績					RA・非常勤講師等の発令通知、人事異動通知書、雇用証明書等 (氏名、授業科目、雇用期間、活動内容がわかる資料)
			ア	学外でのリサーチ・アシスタント等への採用				
イ	科学研究費補助金等による研究活動への貢献							
ウ	学外での非常勤講師等、教育活動への従事							
8	「音楽、演劇、美術その他芸術の発表会における成績」	教育研究活動の成果として、専攻分野に関連した国内外における発表会等で高い評価を受ける等、特に優れた業績を挙げたと認められること	ア 専攻分野に関連した音楽演劇、美術その他芸術の発表会における成績		賞状等 (氏名、日付、活動内容記載。専攻分野との関連性があること)	各業績につき 3ページまで		
9	「スポーツの競技会における成績」	教育研究活動の成果として、専攻分野に関連した国内外における主要な競技会等で優れた結果を収める等、特に優れた業績を挙げたと認められること	ア 専攻分野に関連したスポーツの競技会における成績		賞状等 (氏名、日付、活動内容記載。専攻分野との関連性があること)	各業績につき 3ページまで		
10	「ボランティア活動その他の社会貢献活動の実績」	教育研究活動の成果として、専攻分野に関連したボランティア活動等が社会的に高い評価を受ける等、公益の増進に寄与した研究業績であると評価されること	(1) 大学院における教育研究活動等に関する業績			表彰状(感謝状)、新聞切り抜き等 (氏名、日付、活動内容がわかる資料。専攻分野との関連性があること) ※報酬を得て従事するものは「7.研究又は教育に係る補助業務の実績」に分類	各業績につき 3ページまで	
			ア	専攻分野に密着した学内でのボランティア活動				
(2) 専攻分野に関連した学外における教育研究活動等に関する業績				表彰状(感謝状)、新聞切り抜き等 (氏名、日付、活動内容がわかる資料。専攻分野との関連性があること) ※報酬を得て従事するものは「7.研究又は教育に係る補助業務の実績」に分類				
ア	専攻分野の特殊性を生かした社会貢献、国際貢献							

- ※ 大分類、中分類及び小分類は、順に上位の規程等(法令)を示す。
- ※ 論文、著書及び受賞については、作成又は受賞の年月を記入のこと。
- ※ 発表、学会誌等は、その名称、巻、号、発行日等記載のこと。
- ※ 資料はA4とし、いずれも写しでよい。